



**特 集**

## 特 集

## 1 海岸漂着ごみの削減に向けて

## (1) 海岸漂着ごみの現状と県の対応

本県では、冬季の季節風や海流の影響による海外からのごみの漂着や、河川を通じて生活ごみが流れ着くといった要因により、毎年多くのごみが海岸に漂着し、景観、観光、漁業等に大きな影響を及ぼしています。

県では、海岸漂着ごみの円滑な回収・処分や発生抑制を推進するため、令和4年3月に「福井県海岸漂着物対策推進計画」を策定し、県、市町、民間団体などが連携しながら取り組むこととしています。

海岸漂着ごみの対応については、国の補助金を活用した回収・処理のほか、海岸漂着ごみの実態の周知・啓発やポイ捨て防止など、発生抑制にも取り組んでいく必要があります。

本編では、令和4年度に実施した県の主な海岸漂着ごみ対策を紹介します。

## (2) ふくい海ごみゼロチャレンジ2022

県では、福井の豊かで美しい自然環境を守るため、県民・企業・行政等による自主的な環境美化活動「クリーンアップふくい大作戦」を推進し、県民のみなさま一人ひとりの環境保全に対する意識の向上を図っています。

特に令和3年度からは、海ごみ対策として河川の上流から下流まで流域全体が一体となった清掃活動と呼びかけています。また、清掃活動の中に楽しみを取り入れる工夫も行っていますので、通常の河川清掃と併せていくつか紹介します。

## ア 足羽川天神橋周辺（令和4年4月9日）

福井市東郷公民館の協力のもとで足羽川河川敷の清掃活動を行い、地元を中心に49名の参加者が集まりました。晴天のもと、桜が咲き誇る堤防沿いはとても暖かく、参加者から「春らしい景色の中で行うごみ拾いはとても清々しい気持ちになりました。」と感想をいただきました。

また、冬の間にも雪で隠れていたごみが多く、想定以上の量を回収するなど、河川清掃の必要性を再認識する活動となりました。



## イ 九頭竜川松岡河川公園（令和4年4月17日）

NPO 法人ドラゴンリバー交流会の協力のもとで九頭竜川河川敷の清掃活動を行いました。この日は永平寺町の「町民清掃の日」でもあり、早朝から多くの住民が道路や水路などの美化活動に取り組んでおられ、河川清掃にも約200名と多くの方に参加していただきました。

一見するときれいに見えた河川敷でしたが、茂みの中にたくさんのごみが隠れていました。そのようなごみの中には泥にまみれたものもあり、上流から流れてきたのだと推測されます。このようなごみの拡散を防ぐため、上流から下流まで一体となった清掃と投棄の防止が重要となります。



### ウ 真名川憩いの島（令和4年6月5日）

大野市漁業協同組合と協力して真名川憩いの島周辺の清掃活動を行いました。ペットボトルや空き缶などの飲料ごみが目立ち、その場で飲んだものと推測されます。真名川は九頭竜川の上流域で、福井ふるさと百景にも選出される県を代表するきれいな河川です。地元の方はもちろんのこと、県外から観光に訪れた方とも協力して環境を守り続ける必要があります。



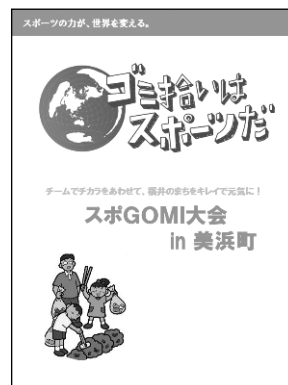
### エ スポGOMI大会 in 美浜町（令和4年5月22日）

誰でも気軽に楽しみながら清掃に参加できるイベントとして「スポGOMI大会」を美浜町の久々子海水浴場で開催しました。

スポGOMI大会とは、5人で1チームとなって制限時間内に決められたエリア内で拾ったごみの質と量をポイントに換算して競い合うものです。例えば、燃えるごみを100gあたり1ポイント、プラごみを100gあたり20ポイントとしたルール設定では、燃えるごみを2kg集めたチームとプラごみを100g集めたチームは同点となります。したがって、闇雲に拾うのではなく戦略を立てて効率的に動いた方が有利に働くなど、ごみ拾いに競技性が生じることになります。開催者側にとっても、特に重点的に回収してほしいごみを高得点に配分することで参加者を自然と誘導できるメリットがあります。

美浜町大会では41チーム157名とたくさんの参加者が集まりました。参加された方は、小学生や中高生などの若い方が多く、通常の河川清掃とは異なる年齢層からの参加が見込まれるのもこのスポGOMI大会の特長です。

当日は、女子高生チームの選手宣誓を合図に40分間の競技が開始されました。みるみる内に海岸のごみが回収されていき、総量533kgも集まりました。そして、優勝チームは選手宣誓を行ったチームで、優勝インタビューでは「ポイントの高いプラごみを積極的に狙いました!」と語り、劇的な幕引きとなりました。上位入賞チームには賞状と福井の特産品ギフトカタログが贈られ、入賞チームの結果発表時にはみなさん大いに盛り上がっていました。



### オ クリーンウォーキング in 福井市鷹巣（令和4年7月3日）

ごみ拾いに加えて、その土地の風景や文化を楽しみながら健康増進までできるイベントとして「クリーンウォーキング」を開催しました。歩くコースは鷹巣海水浴場からスタートし、海岸遊歩道に沿って糸崎寺観音堂を目指すルートでした。糸崎寺では地元ガイドの方から国指定重要無形民俗文化財「仏舞」について、実演も交えながら解説していただき、参加者から「奈良時代から連綿と継承されてきた文化が、身近な土地にあったことに驚いた。」と感想をいただきました。



### (3) 「みんなで海ごみを減らそう」啓発動画コンテスト

#### ①募集の概要

このコンテストでは、福井県の海岸漂着ごみの現状、生活の中から出たごみが川を通じて海へ流れ着いていること、一人ひとりができることなどについて、海岸から遠い地域にお住いの県民にも興味を持って視聴し、学んでいただけるような動画作品を募集しました。

募集期間は令和4年4月25日から8月1日の約3か月間で、大人だけでなく、大学生や高校生、小学生といった学生・児童の皆さんからも応募をいただき、応募総数は40件でした。

ほとんどの作品がグループでの制作となっており、工夫に富んだ作品を制作していただきました。



募集ちらし

#### ②選考の結果

応募いただいた動画は、有識者や民間団体の方、代表市町からなる福井県海岸漂着物対策推進協議会委員の皆さんに審査していただき、最優秀賞1作品と優秀賞2作品を決定しました。

選ばれた3作品については、10月23日（日）に環境ふくい推進協議会が開催したリユースイベント「わくわくもったいないフェスタ 2022」のステージイベントで発表会を行いました。

優秀作品は、地域や学校で環境学習に活用できるよう、県のホームページで公開しています。

また、敦賀市立松原小学校5年生の児童の皆さんからも多数の応募がありました。選考した委員からは「小学生が一生懸命に取り組む姿は素晴らしく、同世代の他の子どもたちの教材として非常に活用価値が高い」との声があったため、松原小学校5年生の皆さんが制作した23作品を、特別にホームページで公開しています。

これらの作品は、県の啓発資材として今後活用していくほか、ぜひ皆様にも視聴していただき、海岸漂着ごみについて考えてみるきっかけとなることを期待しています。



発表会の様子



作品の一例



受賞作品の紹介  
(循環社会推進課 HP)



## 2 県内のコウノトリ繁殖地の拡大

### (1) コウノトリ飼育・繁殖事業

県では国の特別天然記念物のコウノトリを自然再生のシンボルとして位置付け、平成23年12月から、越前市白山地区において飼育・繁殖事業を開始、平成27年から平成30年の4年間には、福井生まれの幼鳥9羽を放鳥しました。

### (2) 鯖江市ではじめての野外巣立ち

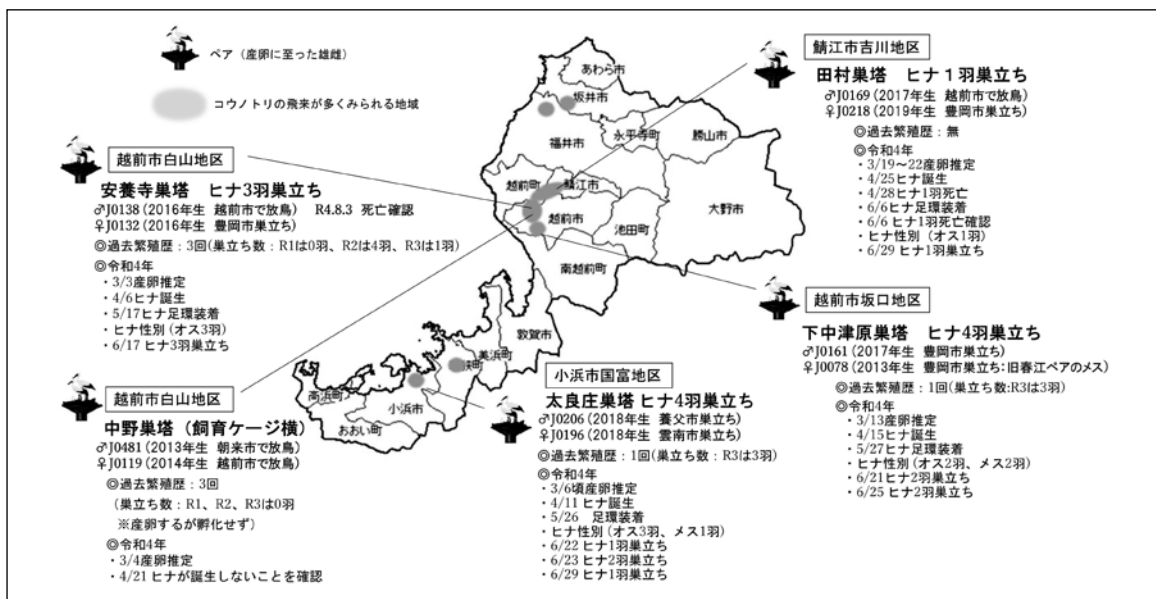
鯖江市吉川地区は日野川に近く、水田や水路にはコウノトリの餌となるドジョウなどの水生動物が豊富です。令和4年春、県が放鳥したオス（J0169）とメス（J0218・兵庫県生まれ）が人工巣塔（H30 鯖江市建立）に営巣を始めました。令和4年、野外では、越前市で3ペア、小浜市で1ペア、そして鯖江市で1ペアが産卵し、合計12羽のヒナが巣立ちました。各市町では、巣立ち前のすべてのヒナに個体識別用の足環が装着されました。足環装着には兵庫県立コウノトリの郷公園とともに県が技術支援しました。今年度初めて繁殖した鯖江市では吉川公民館が中心となり、「よしかわ“コウノトリ”ファンクラブ」を結成するなど、コウノトリを見守る機運が高まっています。

### (3) 越前市でペアのオスが死亡

令和元年、県内の野外で55年ぶりにヒナが誕生した越前市安養寺町のペアのオス（J0138・福井県放鳥個体）が、令和4年8月に死亡しました。国内での野外コウノトリの個体数は、307羽（令和4年7月31日、兵庫県立コウノトリの郷公園調べ）にまで増加し、県内に飛来する個体も年々増えています。このため、配偶相手を亡くしたメス（J0132）が、再びペアを作ることが期待されます。

### (4) コウノトリとの共生

令和4年、県内で死亡したヒナ1羽の死因を調べたところ、アスペルギルス肺炎が疑われる事例がありました。この肺炎を引き起こす真菌は、健康な個体では発症せず、免疫力の弱いヒナなどに感染すると死に至ることがあります。注意すべき点は、人にも感染（人獣共通感染症）することです。落ちているコウノトリの巣材を安易に持ち帰ったり、コウノトリに巣材を与えたりすると病気の蔓延につながります。また、繁殖中に人が巣に近づきすぎると繁殖に失敗することもあります。県では野外コウノトリとの共生に向け、精神的にも物理的にも、コウノトリと一定の距離を保つ付き合い方の普及、啓発を進めています。



令和4年 県内のコウノトリの繁殖状況

